

ヨコミゾドロムシ *Leptelmis gracilis* Sharp

【選定理由】

河川の中流～下流域の瀬、ワンドなどに生息する種であるが、河川の汚れや河川改修による生息地の破壊、悪化によって生息の場を失いつつある。特に生活環境として良好な水質を必要とするため、生活域が狭められ分布が限定されるようになった。

【形態】

体長 2.6～3mm。体は長く、暗褐色。眼は大きな前頭の幅の約半分。前胸背板の前縁から 1/3 近くを横切る溝を有し、後半には両側に斜めの溝がある。上翅の肩部は丸まり、後翅は退化している。肢は長く、爪は大きい。

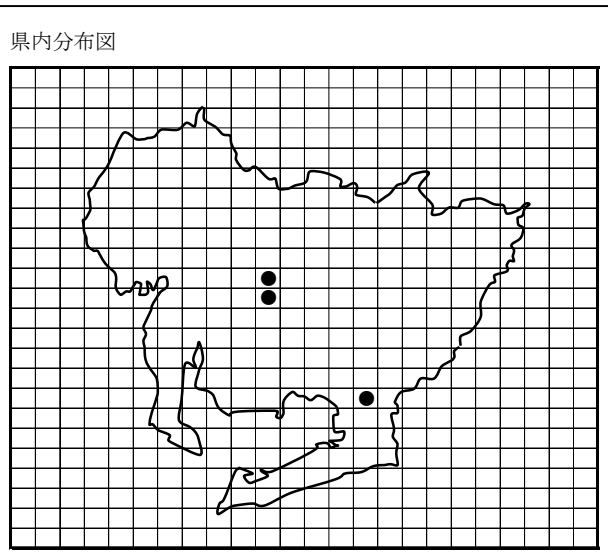
【分布の概要】

【県内の分布】

矢作川と豊川の中下流域に生息する。

【国内の分布】

本州、四国、九州。



【生息地の環境／生態的特性】

湧水のある池や河川の中下流域の瀬、河川敷内の遊水池などで、水草や水中に沈んでいる倒木などにしがみついているのが見つかる。いずれも湧水などがあり、良好な水質を必要とする。

【現在の生息状況／減少の要因】

矢作川では比較的生息地が多い。豊川では 1990 年代は多く見られたが、生息環境が変わってしまい、この十数年は未確認である。支流からの汚水の流入による水質悪化と河川改修、護岸整備などによる生息環境の消失、悪化が減少の要因と考えられる。

【保全上の留意点】

河川敷内にある湧水のある遊水池の保全が必要。特に河川改修時には十分な配慮が必要である。

【関連文献】

吉富博之ほか, 1999. 矢作川水系のヒメドロムシ. 矢作川研究, (3): 95-116.  
豊橋市, 1999. 豊橋市自然環境保全基礎調査報告書.

(長谷川道明・蟹江 昇・戸田尚希)